

新宮山産ぐるーぷ第2268回

行仙宿の巡回整備と迎春準備

◇実施日 12月10日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、湯川一郎、大森洋、濱野兼吉、

畑林秀味・清子、大江加予子・徳子、生熊千満子、上

村和美、山川自知、高階鈴子・美根子、梶野照雄、山

口泰宏、高橋桂太 17名

いよいよ今年最後の定例行事となった。この日の天気予報は晴で、気温が20℃近くになるとのこと、絶好の作業日和である。迎春用品やマキ、ガソリンなど持参品も多いことから入念に準備、確認して準備を整えた。



登山口水場のしめ縄交換



慰霊



作業内容を掲示

午前8時半に下北山村役場駐車場に集合、車4台に分乗して登山口に向かう。浦向のゲート先で法面の工事が始まっている。12月2日から国道425号の冬季通行止めが始まる。通行止めは浦向から21世紀の森迄に拡大されたので、通行止めが解除される2月27日までの間、行仙宿に行くことがかなり制限される。

いつものように階段から登り始め、登山口水場のしめ縄を交換、川島前代表の供養塔で手を合わせる。梶野君は古くなった供養塔を新しいものに交換してくれた。

第2ベンチで休憩し、モノレール終点から分担して小屋に荷物を運ぶ。先行した高橋君は「すごく楽になった」と2往復して荷物を運んだ。



雑巾がけ

お堂も大掃除

水場のしめ縄交換

行仙宿に着き、玄関ドアに本日の作業項目を貼りだしたが、皆さん各自の役割を心得ていて、すぐに作業スタート。梶野、濱野、大森の3名が水場の点検としめ縄交換に。高階鈴子さんが管理棟の清

掃をお一人で。児嶋さんは古い発電機の動作チェックと煙突の点検を。徳子ちゃんと上村さんは小屋の清掃、雑巾がけやマットの組み直しなどを。美根子さんはトイレ清掃。大江、生熊、畑林さんはお堂を担当。残りの男性陣は雨水槽の水抜きと清掃。高橋君は便槽の汲み出しに初トライ。水場点検班も戻り昼食とする。水場は涸れていたそう。

昼食後に掃除機を使って床全面を掃除し、午後1時前に予定した作業を終えた。最後に玄関入口にしめ縄を取り付け、小屋内に鏡餅などの飾りを置いて作業を締めた。



ブロワーで掃除

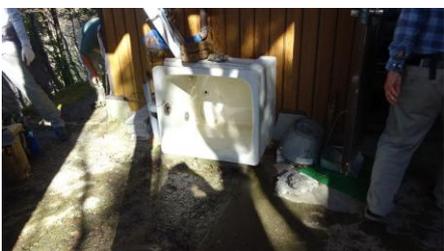
便槽の汲み出し

玄関にしめ飾り

持ち降ろす不用品を手を下した。高橋君は重さ20Kgほどの古いバッテリーをモノレール迄運んでくれた。

今年、令和5年の最大行事はモノレールの260m延伸だろう。持経小屋の大改修以来の大仕事であって、これが完工したのも会員皆様のご協力とご支援、山林所有者の上平氏と電源開発(株)のご理

解に加え、仲間の青木宏充氏からの御寄附など、大勢の方々のご協力のおかげである。感謝に耐えない。多くの皆さんに支えられていることを再認識したし、今後の活動においても感謝の気持ちを忘れてはいけない。



雨水槽を空に

本日の参加者

下山

もう一つは、この一年無事故でトラブルも無く終わったことだ。「無理するな、安全第一」をモットーにしているが、それが実行できたことで今は安堵感でいっぱいだ。会員の高齢化など課題も多いが、来年も「無理するな、安全第一」でやっていきたいと思う。皆さん良いお年を。

行動タイム

08:30 下北山村役場駐車場→10:00 行仙宿 13:37→14:10 補給路 登山口